

# 特定非営利活動法人シクロツーリズムしまなみ

## 2025年度 事業報告書



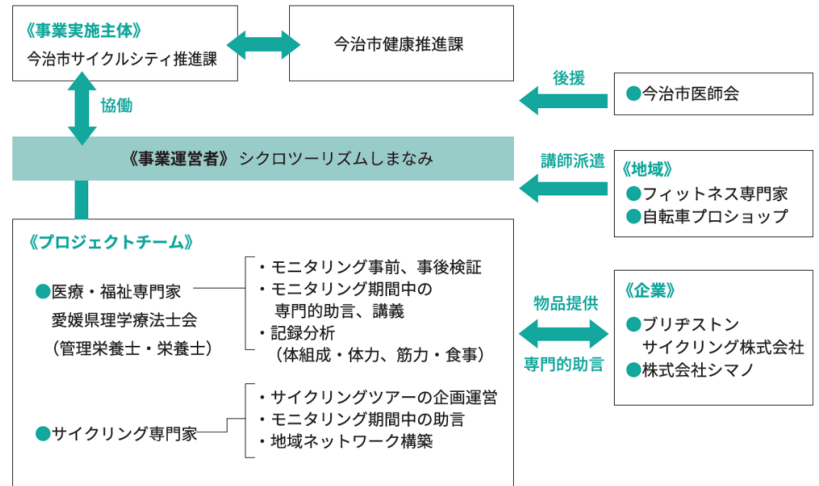
▲「観光」「環境」「交通」まちづくりへの効果を実感。住民の「健康」増進に寄与することを実証したい。

### 1. 今治市 CYCLE FITNESS 自転車に乗って健康になろう！

サイクリングが楽しめる基盤整備が整う今治市においては、住民のスポーツバイクへの関心が高まっている。スポーツバイク乗車のきっかけがなかったり、乗り始めても継続的に乗り続けていなかったりする事例が散見される。自転車乗車を暮らしに取り入れ、長く愛用いただけるよう、自転車乗車の健康効用に着眼した事業を設計。通勤や買い物、レジャーなど幅広い用途で自転車を活用する機運を高めると共に、心身の健康を増進、維持できるよう支援体制の構築、コミュニティ形成を目指した。

#### ① モニター募集と選考

自転車の健康増進への効用を数値化することを目指し、スポーツバイクで日常的な運動をするモニターを公募した。55名の応募があり、自転車乗車10年後の身体づくりを意識してもらおうと、働き盛り世代を中心に選考。スポーツバイク未経験者の中から、自転車への関心度合、日常的な運動不足傾向を勘案し、21名にモニター依頼をした。



▲官民連携に、自転車活用推進を支援する企業なども参画した推進体制。

#### ② モニタリング事業の実施

働き盛り世代を対象に自転車による健康・体力づくりにつながる継続的な支援体制を構築するモニタリング事業に取り掛かった。21名のモニターにサイクリングを運動として取り入れる生活をお送りいただき、身体的・精神的変容を評価した。約3カ月間のモニタリング期間中は、サイクルコンピューターを用いて、サイクリング中の動向を調査し、分析や適切な助言などの活動を行った。また、2週間に1回の頻度で「サイクリングツアー」、「食事改善指導」等の講座を行った。

(1)はじめてのスポーツバイク  
9/7(日)15:00~17:00  
●スポーツバイクのベタリング  
●バイク専門店(プロショップ)の見学

(2)シーサイドサイクリング  
9/21(日)15:00~17:00  
●スポーツバイクのフィッティング  
●休憩所 サイクルオアシスの紹介

(3)ピクニックサイクリング  
10/5(日)15:00~17:00  
●サイクリングルート選び  
●里山を存分に堪能

(4)はじめてのしまなみ海道  
10/19(日)13:30~17:00  
●出発前のセルフチェック  
●橋・島の楽しみ方

(5)6ヶ寺巡りサイクリング  
11/3(月・祝)9:00~16:00  
●楽しみながら経験UP  
●安全祈願！ポタリング遍路

#### ＜理学療法士による直接指導＞

●ストレッチ講座 9/21(日)13:40~14:40  
サイクリング乗車前後に取り入れたいストレッチを学ぶ講座。身体への負担軽減につながることを紹介。自転車運動の疲れ、不慣れな乗車姿勢などを確認。

#### ＜栄養士による直接指導＞

●栄養講話、食事チェック 9/7(日)13:00~15:00  
バランスのよい食生活について学ぶ講座。自分にあった食生活の計画づくりの目標を設定。  
●試食、栄養相談 10/5(日)10:30~12:15  
1日の食事の目安量を意識し、ランチ作りを実践。各自の目標に向けての取り組みについても確認。  
●栄養評価 11/3(月)16:00~17:00  
欠食、むら食い等、食生活の乱れ...改善ポイントを助言。規則正しく食べる、不足している栄養素を補うetc  
食生活へ関心の高まりは成果。

#### ＜ヒントメールとも連動して＞

3日に1回(全22回)「ヒントメール」配信  
(自転車、健康づくりのフォローアップ)

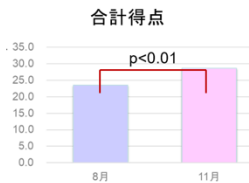
### ③ 体力・筋力診断・栄養相談、食事評価

#### (1)理学療法士による測定結果

##### (1)新体力テスト

新体力テスト(文部科学省)の実施。

測定項目:握力・立ち幅跳び・上体起こし  
長座位体前屈・反復横とび・急歩



▲新体力テストの合計点は優位な差が見られた。

##### (2)筋力の測定

自転車運動により、脚筋力や体幹支持の筋力向上が期待できることを想定し実施。

測定項目:大腿四頭筋・ハムストリング  
腸腰筋・体幹筋持久力(サイドブリッジ)



▲心理面は「自己効力感」「活気」など、全ての項目で優位な改善が見られた。

##### (3)心理面の評価

メンタル面の状態把握のために実施。

検査シート:日本語版POMS

(過去1週間のあいだの気分状態)

運動セルフエフィカシー尺度

(定期的な運動に対する自信の程度)



#### 総括

**「健康・体力・心理」の3要素ともに自転車運動は効果的**

- 体力が付き、測定項目について、9割以上の方の数値改善。
- 自転車に乗ることで運動に対する自信が付き、活気が上向きに。



#### (2)管理栄養士によるアンケート分析

##### 食の傾向

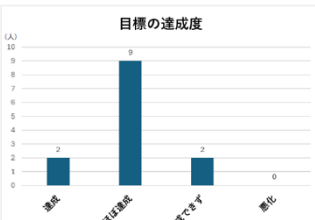
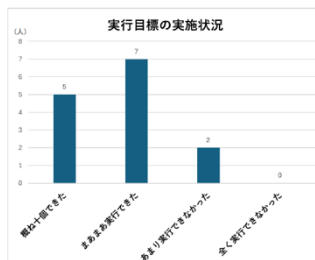
- 主食・主菜・副菜が揃っていない方が多い
- 主食は食べていない方も含め、摂取量が少ない
- 夕食で主菜を摂り過ぎている方が多い
- 間食を食べ過ぎている方がいる
- アルコールを飲む方は量が多い

##### 実行目標

- バランスよく、主食をきちんと摂る
- 朝食を摂る
- 野菜・果物を増やす、食事にプラスする
- 揚げ物を減らす
- 間食を減らす
- アルコールを減らす、休刊日をつくる
- 20時以降は食べないようにする、夜遅く食べない

##### 達成目標

- 体重減少、体重増加
- 体力維持、体力をつけたい(運動不足)
- 健康増進、健康な体作り
- コレステロール値を下げる
- 自転車を活用したい



#### 総括

**適切な食習慣の意識づけができた**

- 栄養相談などにより、食事の傾向、食生活の改善が見られた。
- 運動と合わせ、食事、食生活の見直しの継続の意識が見られた。



## 2. サイクリスト向け情報発信コンテンツ運営管理委託業務

Facebook および Instagram 「しまなみサイクリングパラダイス」を運用し、サイクリストの聖地・しまなみ海道のプレゼンスを国内外で確固たるものにするとともに、周辺地域への波及効果の最大化を図った。記事配信にあたっては、定番のルート紹介にとどまらず、ゆめしま海道・とびしま海道といった周辺島嶼部への動線を意識した情報発信に努めた。特に、視覚的な訴求力が高い Instagram を活用し、地域の日常にある風景や「ここでしか味わえない価値」を切り取ることで、潜在的な訪問層へのアプローチと、地域経済の活性化に資する情報発信を実践した。

■【フェイスブックページ】最もインプレッションが高かった記事 (2025年11月9日投稿)

リーチ数：6,711 閲覧者数：4,918 純インタラクション数：196



■【インスタグラム】最もインプレッションが高かった記事 (2025年1月29日投稿)

リーチ数：5,209 閲覧数：7,941 純インタラクション数：41



164名の増加となった(2026年2月28日現在)。性別構成に大きな変化は見られず、中部・関東圏のフォロワーが依然として少ない。瀬戸内エリアなど、近隣の情報収集を目的とした閲覧者が多いことが読み取れる。インスタグラムでは若年層および女性フォロワーの割合が高い結果となった。今後も地域資源や島民活動の魅力を伝える記事を継続的に発信し、新たなファン層の獲得と情報発信力の強化を目指したい。今後もターゲット層に合わせた情報発信を継続することで、フォロワー増加につなげたい。

### 3. せとうちみなとマルシェ及びクルーズ客船寄港

#### 連携自転車タクシーによる今治城・三重の堀周遊ツアー運營業務委託

自転車のまち・今治の特性を活かし、三輪自転車タクシーを用いた今治城下町エリアのガイドツアーを実施した。低速走行による車窓からの新たな観光体験を提供するとともに、二次交通としての利便性および将来の有償運行に向けた可能性を検証した。



#### 〈実証実験の概要〉

今治港（せとうちみなとマルシェ会場）から今治城まで、「徒歩では遠く、車では通り過ぎてしまう」という中心市街地の課題に対し、自転車による速度域によるエリア全体の回遊性の向上に寄与できた。歴史的な街路や細い路地へ誘うことができる自転車の特性は城下町散策との親和性が高く、車窓からの眺めを楽しみながら、ガイドの解説と共に巡る新しい体験となった。老若男女、さらには視覚に障がいをお持ちの方にも乗車いただき、ユニバーサルな体験として、サイクルツーリズムの多角的な魅力発信となった。

#### 〈アンケート分析〉

せとうちみなとマルシェ連携時の運行において、今後の有償運行に向けてのアンケート調査を実施した。

方法：三輪自転車タクシー降車時にアンケート用紙 配布

期間：2026年2月22日(日)9:00～14:00、3月8日(日)9:00～14:00

回答者：三輪自転車タクシー乗車体験者 28名 (2/22(日)13名、3/8(日)15名)

\*回答率 100% 但し、未就学児は未回答。

#### ①参加者属性：幅広い層の支持。ファミリー層・女性の支持層への手応え

- ・合計 28 名（女性 22 名、男性 6 名）と、女性の参加が中心。
- ・10 歳～80 歳代まで幅広く、「親子三世代」での利用が特徴的。
- ・今治市民を中心に、西条市や広島・岡山から帰省客も。観光、帰省時のアクティビティとしての手応え。

#### ②運用実績と満足度：極めて高い評価

- ・SNS 予約で事前に完売。乗車目的で遠方から訪れる客層もおり、強い引きを確認。
- ・体験後の満足度は 100%（大変満足・満足）。
- ・30 分の案内時間は、ほぼ全員が「ちょうどいい」と回答。ルート設計が適正であったことを確認。

#### ③運用のポテンシャル：中心市街地回遊の魅力と「自転車」の優位性

- ・城下町今治の価値の再定義。「今治の歴史を初めて体感した」「老舗店舗への立ち寄りがよかった」との声。
- ・自転車移動ならではの観光体験。「車では通り過ぎてしまう」「小さな路地の魅力を知った」との声。
- ・福祉・ユニバーサルデザインの可能性。視覚障がい者の方から「風を感じた」「会話を楽しめた」との声。

#### ④有償運行の検証：一台あたりを基本料金の打ち出しがベター

- ・利用者視点での妥当な価格帯として、「1,000 円/台（10 名）」、「2,000 円/台（15 名）」との回答。

#### 〈今後の事業化に向けて〉

車窓からの新鮮な眺め、ガイドの解説が耳に届くライブ感ある体験としての商品価値を感じた。車体の確保、車両の乗車定員（2～3 名）を鑑みると、「1 台 1,000 円（2 名まで）」を基本料金（ベース）にすることで、利用しやすく、満足度につながると考えられる。一方、一日の乗車数（稼働効率）から、運賃収入と合わせた収益の確保が求められる。目立つ車体を活用した車両ラッピング等の企業協賛、観光・福祉を融合した官民連携による運航継続が目指される。集客力がある「せとうちみなとマルシェ」の来場客をメインターゲットに据え、「マルシェ+城下町ガイド」をセットにしたパッケージによる将来的な継続運行を示したい。

#### 4. 外国人向け自転車交通安全講座および市街地サイクリング体験運營業務

今治市における在住外国人が増加傾向にある中、日本の交通ルールへの不慣れに起因する交通事故の増加が懸念される。本業務では今治明德短期大学留学生を対象に、日本の交通ルールおよび自転車の正しい乗り方、マナーを実践的に学ぶ講習会を実施した。今治明德短期大学周辺の通学路における具体的な危険箇所を把握・共有し、学生の安全意識向上と交通事故防止を図ることができた。

日 時：2026年3月4日（水）

第1部：13:00～15:00 参加者：4名

第2部：15:00～17:00 参加者：7名 計11名

対象者：今治明德短期大学の留学生（ネパール人・ミャンマー人）



##### ① オリエンテーション

参加者が自ら考え、アクションにつなぐことができるよう、交通ルール・マナーを学ぶ「〇×クイズ形式」を取り入れた。日本語に不慣れな学生分かりやすいビジュアル資料を用意した。

###### 〈ヘルメットの着用〉

自転車死亡事故の多くが頭部損傷であること、転倒時の衝撃から守るヘルメットの重要性を紹介。正しいヘルメットのフィッティングを行った。

###### 〈自転車のルール・マナー講習〉

ルール違反が複数潜んでいるイラストを提示。間違い探し形式に挙手いただいた。日本語能力に関わらず全員が参加でき、走行前に正しい乗り方をインプットできた。

##### ② 体験

走行ルート：JR 今治駅前レンタサイクルステーション～今治明德短期大学～JR 今治駅前

走行距離：約4km



##### ③ 振り返り

実践練習後の振り返りとして、フリップを用いた自転車のルール・マナー再確認を行った。参加者一人ひとりが自分自身に対して誓う「宣言書」形式の朗読を行った。



今治市中心市街地エリアを走行ルートとすることで、学生・住民・観光サイクリストの動線が交差する具体的な危険箇所を学ぶ機会となった。また、今治市内に増加傾向の在住外国人を対象にした自転車交通安全指導の指導手順を確認できた。外国人労働者やその受入れ企業へ安全教育を水平展開するためのパッケージ化につなぐ基礎としたい。

## 5. ライフステージに応じた自転車利用の拡大と安全安心ライドの普及

自転車新文化の定着を目指すしまなみから、世代を越えて自転車に親しむ機会の創出、走行環境の整備や交通マナーの啓発につながる取組み等を進めた。

### ① 「みきゃんサイクルスクール 自転車ヒロバ」開催事業

未就学児を対象に「ランニングバイク」使用による「自転車ヒロバ」活動を実施した。活動により、自転車に乗るための基本となる能力、他者とぶつからないようにする中で育む思いやりの気持ち等を実践的に養うと共に、自転車を安全に利用するためのルールやマナーを啓発することができた。また地元のコミュニティ組織、企業等と連携し、保護者等が休憩できる空間づくりを行うことで三世代が交流しながら自転車の魅力を体感できる場づくりとなった。

#### 《1回目》

日時：2025年7月26日(土)15:30～19:30  
会場：なみかた海の交流センター  
連携：玉生八幡神社の輪ごし（地元コミュニティ組織）  
参加：未就学児約70名、来場者約140名



#### 《2回目》

日時：2025年9月28日(日)9:00～14:00  
会場：今治港・せとうちみなとマルシェ会場  
連携：せとうちみなとマルシェ実行委員会  
参加：未就学児約110名、来場者約180名



#### 《3回目》

日時：2025年10月12日(日)10:30～15:30  
会場：今治商店街  
連携：今治市・こどもが真ん中フェスタ  
参加：未就学児約210名、来場者約450名



### ② 第13回しまなみランニングバイク選手権

「しまなみランニングバイク選手権」を開催した。三世代が交流しながら自転車に親しむ大会となった。自転車の往来が増えるまちにおいて規則やマナーの啓発、自動車や歩行者との道路シェアの意識醸成等につなぐこと事業として、地域一丸となった取組ができた。

日時：2025年11月2日(日)9:30～15:30  
会場：波方港・なみかた海の交流センター  
参加者数：選手134名・来場者約600名



## 6. なみかた海の交流センター管理運営事業（今治市委託事業/3か年事業）

地域住民と来街者の交流の拠点として、しまなみ海道を訪れる自転車愛好者等の立ち寄り、海事資料の展示による地場産業の振興等に取り組んだ。市民の創作活動、芸術作品等の発表の場「市民ギャラリー」の充実に努め、文化活動を通じた施設の認知度向上に努めた。地元で開催するイベント時のトイレ利用等、旅行者、地域住民双方が気軽に立ち寄り、懇親・交流できる拠点づくりを進めることができた。

①ギャラリー機能：海事資料館との相乗的な情報発信機能	来場者数(人)
市民ギャラリー・自転車旅行博物館（自転車関連の展示）の運営。	3,171
②飲食業、製造加工業：地産食材活用による地域らしい食提供機能	
地産の食材を提供するカフェ。地産の食材の加工・製造。	250
③簡易宿所業：多様な形態に応じた宿泊提供機能	
個人から団体までニーズに対応できる「なみトみなと」の運営。	1,924
④地域限定旅行業：自転車等を活用した地域回遊まちづくり機能	
マイクロツーリズムを含むサイクリングツアーの催行。 自転車でキャンプするレンタル用品の貸し出し。	33
⑤その他：地域の魅力再発見につながるイベント開催 他	
イベントの主催、地元イベント開催時の施設開放。	772

### ＜地域連携活動＞

波方エリア特有の自然景観や伝統文化の保全・継承につながる各種団体との連携、地元イベント時の施設開放などを進めた。「健康増進」と「多世代交流」の促進につながるなどの声が寄せられた。

#### 1. 地域交流・社会福祉活動

- 半島四国八十八カ所お遍路ウォーキング(2025年4月26日)  
今治東ライオンズクラブと連携し、瀬戸内海の多島美や来島海峡大橋を望むコースにおいて、お遍路さんへの接待活動を実施する団体への施設開放。地域文化の継承と交流を図る。
- 今治社会保険 健康ウォーク(2025年10月26日)  
愛媛社会保険協会からの要請により、市民の健康づくりを支援するウォーキングイベントにて受付・運営の場所提供、トイレ開放などを実施。
- 地元住民による定期市場「はがたマルシェ・おついたち市」  
玉生八幡神社で開催される定期市場開催時には、施設開放を行い、地域住民の憩いの場を提供。

#### 2. 主催事業時における集客促進

- みきゃんサイクルスクール 自転車ヒロバ開催時の施設利用  
「自転車ヒロバ」の開催(2026年7月26日)  
「しまなみランニングバイク選手権」の開催(11月2日)
- 「今治市 CYCLE FITNESS 自転車に乗って健康になろう」開催時の施設利用

## 7. シクロ農園

耕作放棄園地において里山再生を目指す「シクロ農園」では、新たな作物導入、加工品づくり等の手法を取り入れた供給サービスの継続と合わせ、環境教育やコミュニティ創造視点を持った文化的サービスへの取組みを展開した。地元住民、中でも今治市内の幼稚園などの園児の来訪があり、その受入にあたって、協力体制の構築が進んだ。周辺園地の営農意欲の向上、活動への理解醸成にもつながった。

### 《観察会・体験会》

4/8(火)	春の里山散策	めぐみ幼稚園 14名(年長児11名・先生3名)	
4/18(金)21(月)	春の里山散策	今治幼稚園 31名(年長児26名・先生5名)	
5/12(金)15(木)	植樹体験	今治幼稚園 57名(年中24・年長26名・先生7名)	
5/16(金)	植樹体験	たんぼぼ幼稚園 19名(全園児11名・先生、保護者8名)	
6/20(金)	紙鉄砲づくり	たんぼぼ幼稚園 8名(年長児5名・先生、保護者3名)	
7/11(金)	押し花づくり	たんぼぼ幼稚園 6名(年長児4名・先生、保護者2名)	
8/8(金)	夏の里山散策	学童保育キラリ 27名(全園児23名・先生、保護者4名)	
9/19(金)	押し花づくり vol.2	たんぼぼ幼稚園 6名(年長児4名・先生2名)	
9/24(水)	秋の里山昆虫採集	めぐみ幼稚園 19名(全園児14名・先生、他5名)	
10/17(金)	養老山登山	たんぼぼ幼稚園 7名(年長児5名・先生2名)	
11/4(火)	ふるさと探検学習	波方小学校 2年生	
11/7(金)	クリスマスづくり	たんぼぼ幼稚園 7名(年長児5名・先生2名)	
11/18(火)19(水)	どんぐり拾い	今治幼稚園 28名(年長児25名・先生3名)	
12/12(金)	しめ縄づくり	たんぼぼ幼稚園 9名(年長児5名・先生、他4名)	
12/19(金)	みかん狩り体験	たんぼぼ幼稚園全園児	
12/26(金)	ヤマモモの小道散策	学童保育キラリ 19名(全園児15名・先生、保護者4名)	
1/6(火)	みかん狩り体験	学童保育キラリ 16名(全園児12名・先生4名)	
1/9(金)	みかん狩り体験	はしまる認定こども園全園児35名(年長児30名・先生4名)	
1/19(月)	みかん狩り体験	めぐみ幼稚園 19名(全園児14名・先生、他5名)	
1/21(水)	みかん狩り体験	今治幼稚園 28名(年長児25名・先生3名)	
2/21(金)	春を見つけよう	たんぼぼ幼稚園全園児(全園児15名・先生4名)	
3/13(金)	春を見つけよう	めぐみ幼稚園 23名(全園児21名・先生、他2名)	
3/24(火)	春を見つけよう	学童保育キラリ 18名(全園児18名・先生、保護者4名)	

## 8. 宿泊業「しまなみゲストハウス シクロの家」「なみとみなと」

JR今治駅前、今治市北部・波方港前で開業している2カ所のゲストハウスを運営した。

### 《しまなみゲストハウス シクロの家》

開業から11年目を迎えた。しまなみ海道が「世界のサイクリングロード」として定着し、コロナ禍明けの回復期を経て、安定成長期への移行を感じた。「しまなみ海道の玄関口」として、宿泊機能に加え、自転車旅のコンシェルジュ機能を強化してきた。今期はレンタサイクルを利用する初心者やインバウンド旅行者が過半数を超え、ロードバイク愛好者に留まらない多様な旅人を地域へと繋ぐ役割が求められた。

開業から10年を超え、設備・備品の修繕、新調による、施設の安全性とお客様の快適性を維持するためのメンテナンスを進めた。さらに、宿泊者の多様化により、衛生面、文化面を考慮した接客、清掃マニュアルを見直し、より清潔で安全な宿泊環境の整備にも注力した1年となった。

## 《なみトみなと》

2024年1月にリニューアル（5室・31床への増床）、呼称を「なみトみなと」へと刷新した体制を2025年度も継続して運用した。地場産業である海事造船業との連携により、新造船の乗組員の方々の宿泊受入れについては、年間を通じて安定的に受け入れる体制を維持・定着できた。中・長期の団体宿泊客の受け入れのニーズもあり、夏季休業期間を中心にご利用いただいた。運営面においては、「シクロの家」との連絡、スタッフ体制の構築により、旅行者への情報提供や積極的なコミュニケーションを深めることができた。

## 《数値分析》

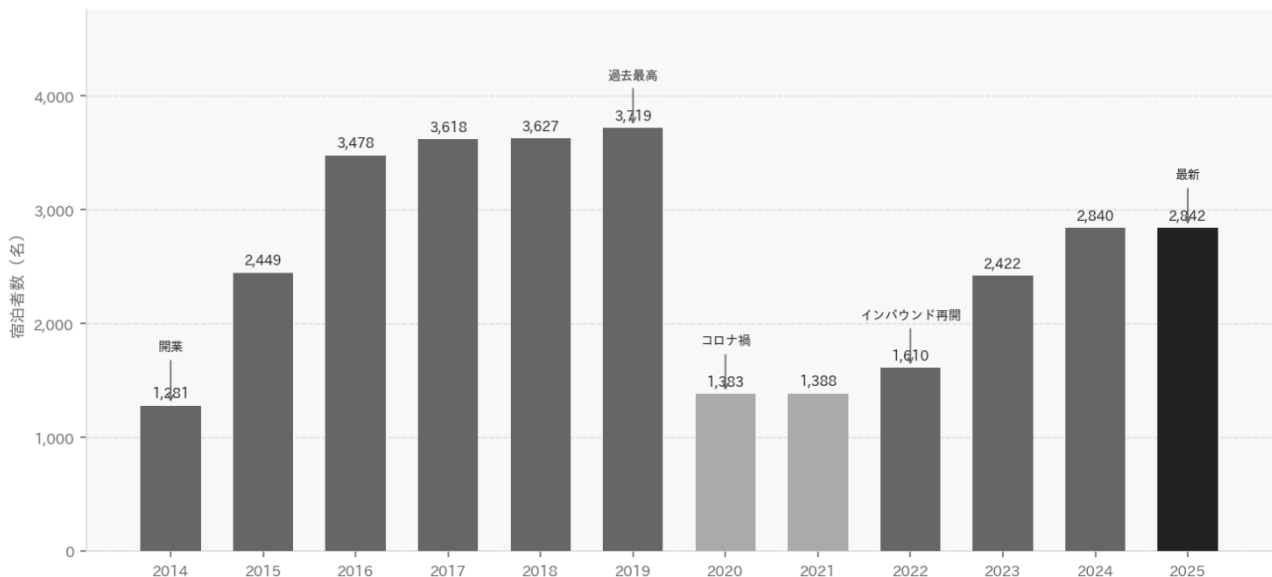
数値による定量的評価については、「シクロの家」に集約して実施した。

### ① 全体数と稼働率

年間宿泊者数は2,842名（前年度2,840名から微増）、年間稼働率は58.9%（前年度57.0%から上昇）となった。2019年度（3,719名）のピーク時には及ばないものの、コロナ禍の低迷期（2020年度 1,383名）から着実に回復しており、収容人数14名の小規模施設として安定した運営を維持できたと考える。

【図1】各年度の宿泊者数推移

12年間の総宿泊者数推移（2014年度～2025年度）

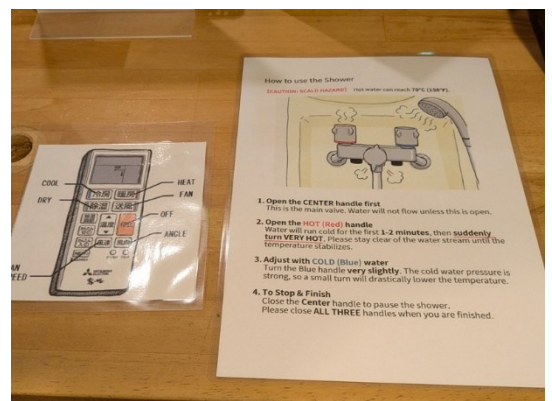


### ② 国籍・地域別シェアと旅の形態

インバウンド比率は約58.4%（1,652名 / 総宿泊者2,830名）に達し、国内旅行者を大きく上回った。国内については、大阪（127名）・東京（203名）・神奈川（113名）などの大都市圏からの来訪が中心である。都市部の生活者が「非日常」を求めてしまなみ海道へ訪れる傾向が読み取れる。

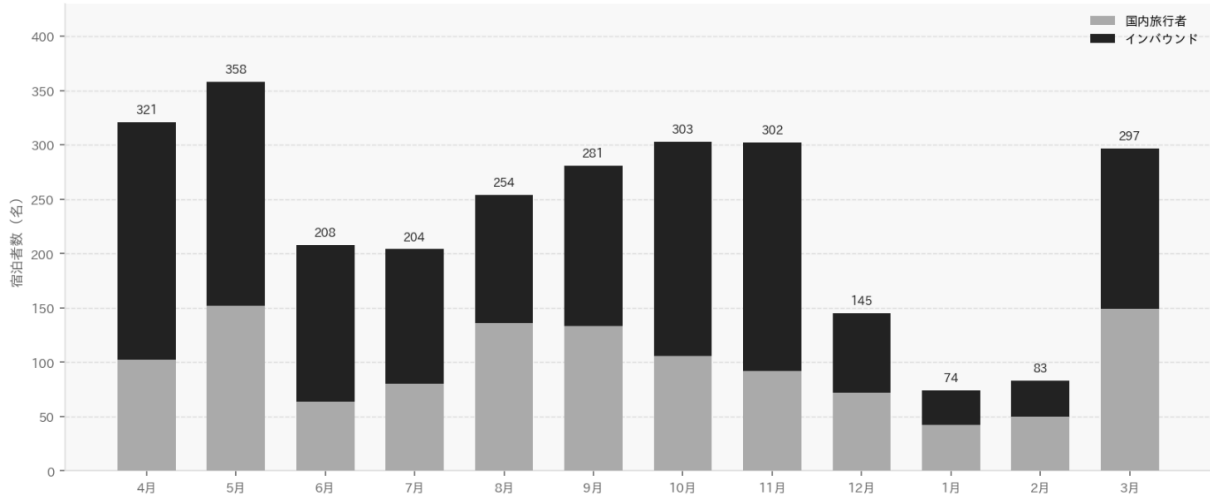
男女比は男性56.8%、女性43.2%となった。個人旅行（1人～2人旅）の割合が高く、当施設のコネクトである交流促進に合致した個人旅行者の受入がインバウンド層の増加により、国際的な広がりを感じる年となった。

視覚的サポートツール（掲示物）の作成▶現場では外国人旅行者向けに「エアコンのリモコン操作」や「冷温水混合シャワーの使い方」に関する資料を作成。滞在中のストレス軽減に努めた。



【図2】国内旅行者とインバウンドの月別宿泊者数各年度の宿泊者数推移

2025年度 国内 vs インバウンド月別宿泊者数



【図3】インバウンド国籍・地域別 宿泊者数トップ5

順位	国・地域名	宿泊者数	備考
1位	アメリカ	192名	北米地域合計(314名)の過半数
2位	フランス	177名	欧州最大の客層
3位	イギリス	167名	前年度比でも高い水準を維持
4位	台湾	148名	繁体字 Web ページの更新が奏功
5位	ドイツ	142名	サイクリング文化の根強い地域

◀欧州圏は堅調。情報発信を強化した台湾の躍進は手応えに。

### ③ サイクリストの動向

《移動手段》今期、移動手段に顕著な変化を感じた。レンタサイクル利用者層が76%となり、ロードバイクなどMy自転車を持参する旅行者を大きく上回った。一般の「レジャー・観光客」がサイクリングを楽しむ場所へと、しまなみ海道の立ち位置が大きく変化していることを感じる。当施設には、パンク修理等のメンテナンスサポート以上に、ルート案内や旅のプランニングといったソフト支援の重要性が増している。

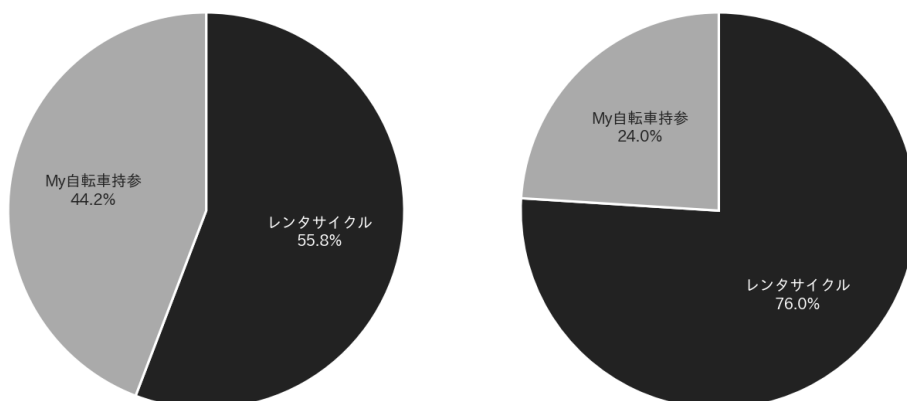
《リピート率》 当施設のリピーター：9.0%、しまなみ海道リピーター：9.5% を記録し、約1割がしまなみ・今治へ再来していることは、選ばれる地域としての価値を感じる数値となった。

【図3】移動手段の割合推移

(アンケートデータより)

- レンタサイクル利用: 76.0% (前年度 71.1% からさらに拡大)
- My 自転車持参: 24.0% (2022 年度の 44.0% から大幅に低下)

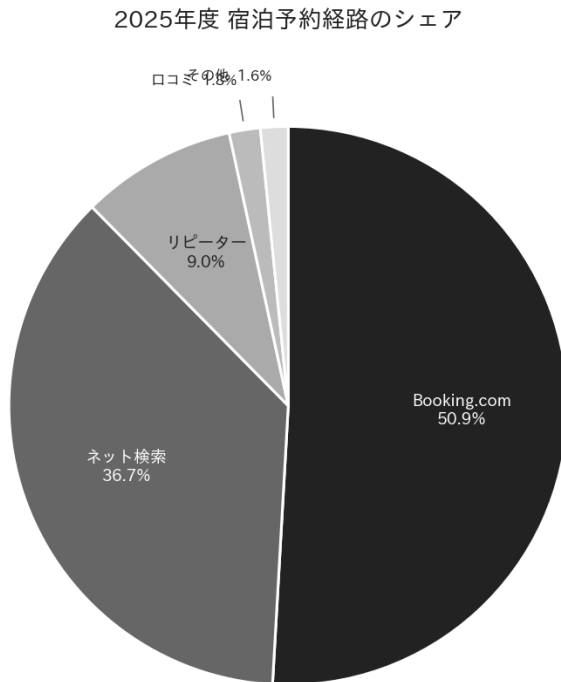
サイクリストの移動手段変化 (2022年度 vs 2025年度)



#### ④ 集客・広報

Booking.com（アゴダを含む）経由が 50.9%と過半数を超えた。ネット検索（36.7%）を上回り、旅行者の間で宿泊予約の際、予約比較サイトや予約アプリを使用することが定着していることを感じた。

【図 4】 流入経路の内訳（2025 年度）



【図 5】 次世代 AI 検索からの新規流入

参照元	アクティブユーザー数
ChatGPT (chatgpt.com)	838 名 (合計値)
Perplexity (perplexity.ai)	109 名
Gemini (gemini.google.com)	30 名

▲GA4 のデータからは、従来の検索エンジン以外に ChatGPT や Perplexity といった次世代 AI ツールからの新規流入を確認。旅の計画スタイルの変化がデータにも表れている。

#### ⑤ WEB サイト運用

当施設はオープン以来、来訪者の不安解消、滞在をより豊かなものにするための正確な情報提供を重視してきた。WEB サイトによる先行的な情報提供、来訪者の声を届けるリアルな情報交換が成果に表れている。

● 「レンタサイクル完全ガイド」: 51,263 PV (第 1 位)

長年蓄積してきた現場のノウハウを凝縮した結果、不動のトップコンテンツとして定着した。

● 「繁体字版 Q&A ページ」: 34,569 PV

ChatGPT を活用し、台湾のお客様向けに最適化。インバウンド宿泊者の直接的な増加に繋がった。

【図 5】 主要コンテンツの運用実績(累計)

コンテンツ名	表示回数 (PV)	寄与している層
レンタサイクル完全ガイド	51,263	初心者・レジャー層
原付バイクツーリング特集	42,774	ニッチなツーリスト層
台湾語(繁体字)版 Q&A	34,569	台湾からのインバウンド層
初心者安心サイクリング Q&A	32,180	初めてのしまなみ海道層

◀WEB サイト・人気コンテンツ TOP 4 宿泊予約フォーム(6,496 表示)を遥かに上回るアクセスがガイド記事に集中。情報発信としての役割が際立っている。

なお、情報発信の基盤として、Google の「検索品質評価ガイドライン (E-EAT)」を意識したコンテンツ改善、PHP・WordPress の更新、バックアップ体制の強化などの保守点検も並行して実施した。

## ■新規 WEB コンテンツの展開

専門性の高い「しまなみネイチャーガイド教本」を一般の旅行者向けに再構成し、「自然解説ページ」として新設した。これにより、単なる移動ルートの紹介に留まらない、地域の生態系や景観の深掘りといった付加価値を提供できた。この取り組みは、当会が出版する『しまなみ島走 CAMP』の販促とも戦略的に連動させた。

## ■最新情報の提供とインバウンド対応

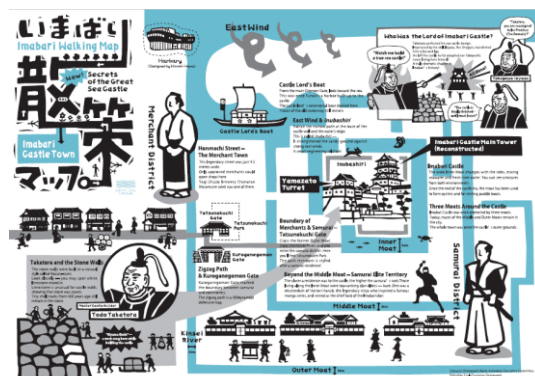
情報の信頼性を担保するため、変動の激しいレンタサイクル、公共交通機関、および地域の飲食店情報については、随時更新を行う体制を維持した。

## ■まちなか回遊の促進とインバウンド対応

館内配布物も多言語化を進めた。ニーズが高まっているベジタリアン対応情報を新たに追加。多様な文化背景を持つ来訪者がストレスなく街歩きを楽しめる環境を整備した。今治市中心市街地の回遊を促す「今治散策マップ」は新たに「お城下マップ」を制作、多言語化した。



この記事は、しまなみ海道でサイクリングガイドを熟めるなかで、自分自身の興味として「この」  
▲新設した「自然解説ページ」



▲シリーズ4つ目となる「いまばり散策 お城下マップ」

今期は宿泊者の多様化とインバウンド増加という大きな変化の中で、「情報発信・交流拠点」としての役割をより一層感じる年となった。来年度に向けて、以下3点を重点課題として取り組みたい。

### ① コンシェルジュ機能の高度化

レンタサイクルを利用する初心者層の増加を見込み、体力や時間に合わせた「オーダーメイドの行程表提案」など、よりきめ細やかなサポートを強化。全スタッフの“コンシェルジュ力”向上を目指したい。

### ② AI・検索環境への適応

AIからの流入増加に対応するため、ウェブサイトの構造化データを整理し、AIが正しく当施設の魅力を学習・推奨できるようなコンテンツ更新を継続。

### ③ 多言語対応の意義確認

当施設が海外旅行者向けに特化した施設ではないこと、地域の風土や文化を理解いただく交流拠点であることを念頭に、日本語での発信をベースとしつつ、増加するインバウンド旅行者対応に努めたい。台湾に次ぎ、フランス・ドイツからの来訪者のボリュームが増していることを受け、これらの言語での情報発信を検討。

## 9. 物品販売業

今期は当会運営施設である「ゲストハウス シクロの家」での対面販売、地域の集客拠点「道の駅」での委託販売により、一定水準を保った販売ができた。

### ■主要商品シリーズ化

サイクリストのバイブルとして親しまれてきた島走シリーズは、「BOOK」「PLAN」「CAMP」をラインナップ。多様なターゲット層のニーズを網羅する書籍となった。

### ■オリジナルグッズ

アパレルやグッズ等の土産品を中心に展開した。特にオリジナルTシャツや、地場産業を活かした今治タオル商品は人気を維持できた。



▲「シクロの家」フロント販売機能  
当施設ではカフェメニューの提供と物販を併設。サイクルキャップやバッグなど比較的単価が高い商品が海外からの旅行者を中心に求められた。

## 10. 地域限定旅行業

### ①募集型旅行

旅行者のニーズに合わせて、着地型旅行商品を造成し、提供した。地域資源の活用、住民との交流を進めた。

#### ■しまなみ自転車キャンプ

【夏】真夏をエンジョイ！自転車キャンプ（7/19 大三島／多々羅キャンプ場） \*中止

2025年7月18日(金)19日(土)20日(日)

【秋】赤とんぼ舞う自転車キャンプ（9/13 大三島／多々羅キャンプ場）

2025年9月12日(金)13日(土)14日(日) 参加者：5名

【深秋】霜秋の候にて自転車キャンプ（11/23 大久野島／大久野島キャンプ場）

2025年11月22日(土)23日(日)24日(月・祝) 参加者：6名

#### ■第14回タンデム自転車祭り

2026年3月23日(土)・24日(日)/1泊2日

### ②受注型旅行・ガイド派遣

個人や団体、旅行会社等からの依頼に基づき、オーダメイド型旅行企画及びガイド派遣をした。

#### 《個人旅行》

年月	主な目的地・人数	概要
2025年5月	しまなみ海道サイクリング（来島海峡大橋）11名	訪日外国人観光客を扱う旅行会社
	しまなみ海道サイクリング（多々羅大橋・大三島）3名	訪日外国人観光客を扱う旅行会社
7月	しまなみ海道サイクリング（来島海峡大橋）5名	訪日外国人観光客を扱う旅行会社
10月	しまなみ海道サイクリング（来島海峡大橋）11名	訪日外国人観光客を扱う旅行会社
	しまなみ海道サイクリング（今治市～生口島）4名	地元エージェント
11月	しまなみ海道サイクリング（来島海峡大橋）4名	地元エージェント
	しまなみ海道サイクリング（しまなみ縦断）1名	地元エージェント
3月	しまなみ海道サイクリング（来島海峡大橋）13名	訪日外国人観光客を扱う旅行会社

《団体旅行》

	主な目的地・人数	概要
2025年4月	しまなみ海道縦断サイクリング/2日間 30名	訪日外国人旅行客を扱う旅行会社
5月	しまなみ海道ハーフライド/1日間 5名	訪日外国人旅行客を扱う旅行会社
6月	Scenic Eclipse II 今治- 寄港地ツアー/1日 60名	地元エージェント
10月	しまなみ海道ハーフライド/1日間 5名	訪日外国人旅行客を扱う旅行会社
11月	しまなみ海道縦断サイクリング 30名	訪日外国人旅行客を扱う旅行会社
12月	しまなみ海道ハーフライド/1日間 10名	訪日外国人旅行客を扱う旅行会社
	しまなみ海道縦断サイクリング 30名	訪日外国人旅行客を扱う旅行会社
3月	しまなみ海道縦断サイクリング 8名	愛媛県内旅行会社

《修学旅行》

2025年4月	多々羅大橋を渡るサイクリング体験へのガイド派遣 ・兵庫県/高等学校 300名
5月	生口島～伯方島へのサイクリング体験へのガイド派遣 ・兵庫県/中学校 220名 多々羅大橋を渡るサイクリング体験へのガイド派遣 ・大阪府/中学校 220名 ・兵庫県/小学校 100名 来島海峡大橋を渡るサイクリング体験へのガイド派遣 ・大阪府/中学校 80名 ・愛知県/高等学校 80名
6月	多々羅大橋を渡るサイクリング体験へのガイド派遣 ・大阪府/中学校 60名
10月	来島海峡大橋を渡るサイクリング体験へのガイド派遣 ・神奈川県/高等学校 80名 ・愛知県/高等学校 80名、80名、80名、80名、80名 ・埼玉県/高等学校 80名 ・長崎県/中学校 60名
11月	多々羅大橋を渡るサイクリング体験へのガイド派遣 ・福島県/高等学校 延べ約80名

《視察研修旅行》

	主な目的地・人数	概要
2025年 7月	しまなみ海道サイクリング（今治市内～大三島） 5名	視察一行

《その他》

	主な目的地・人数	概要
2025年 7月	瀬戸田サセビビーチ～マリンピア伯方（トライアスロン） 4名	高校（トライアスロン）対応

### ③サイクルシップガイド派遣

自転車積載サイクルシップの定期航路化に向けた実証実験が進む。サイクルシップ運航とサイクリングを組み合わせたツーリズムの支援を担うガイドを派遣した。

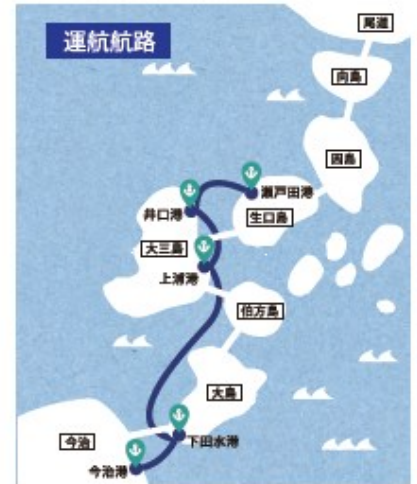
#### 2025年春の実証実験

日時：5月16日(土)・6月14日(土)・7月13日(日)

航路：時刻表

		往路						
港	今治港	下田水港		上浦港		井口港		瀬戸田港
	発	着	発	着	発	着	発	着
1便	9:00	9:20	9:35	10:05	10:20	10:30	10:45	10:55
2便	13:30	13:50	14:05	14:35	14:50	15:00	15:15	15:25

		復路						
港	瀬戸田港	井口港		上浦港		下田水港		今治港
	発	着	発	着	発	着	発	着
1便	11:10	11:20	11:35	11:45	12:00	12:30	12:45	13:05
2便	15:40	15:50	16:05	16:15	16:30	17:00	17:15	17:35



内容：

- ・船上では橋をくぐるタイミングに合わせて声かけ。展望デッキでのコミュニケーション。
- ・帰路利用のサイクリストに下船港（駐車場に近い港）の情報提供。

### 11. 自転車まちづくり

自転車による地域振興、自転車を活用した健康推進や環境配慮型の取組み等を進める各種機関からの依頼に基づき、講師を派遣したり、現場視察・ガイド派遣による現地ツアー等を行なったりした。

#### ① 講師派遣

2025年 6月27日(土)	第3回全国散走フォーラムにおいて、住民参加のしくみ「サイクルオアシス」を事例に自転車を活用したまちづくりを紹介。愛媛県からは2027年「Velo-city」の紹介もあった。
8月1日(金)	「ふくしま浜通りサイクルルート」の整備、情報発信に取り組む福島県(15市町)において、地域の事業者や住民など地域全体で来訪者を受入れる連携を学び合った。
8月22日(金)	自転車通勤推進企業への自転車安全利用の研修。社員に通勤などで乗車してもらう際の注意点と合わせ、レジャー、健康づくりとしてのスポーツバイクの活用と効用を紹介。
10月3日(水)	地域に関する様々な課題を学び、経済・経営学の視点からの解決策を目指すフィールドワークの受入。サイクリング体験を通して、都市と地方のつながりの大切さを実習する機会を設けた。
7月～10月 (コンサルテーション)	自転車を安心して環境のよい乗り物になるような取り組みを進める中、健康づくりでの使用啓発につながる情報発信媒体、協会員への資料作成への協力。
12月6日(土)	地域の魅力を地元の高校生が主体となって発掘し、発信する「東予の魅力山盛りツアー」への講師派遣。今治北高校大三島分校の6名の生徒の自転車ガイドの支援。
2026年 1月16日(金)	サイクルツーリズムの推進にあたり、しまなみ海道における官民連携による取組みを紹介。地域の事業者や住民など地域全体で来訪者を受入れる連携を学び合った。
3月10日(火)	2027年度の大鳴門橋自転車道完成に向け、地域資源を結びつけ、ビジネス感覚で取り組む自転車旅行地形成をテーマに講演。官民一体の広域連携について意見交換した。

## ② 視察受入

2025年 4月17日(木)	流通・サービス・観光委員会の視察受入。自転車旅行者誘客、滞在・回遊促進の取組の紹介及びGoogleマイマップを活用した観光デジタルマップ作成の参考になる取組状況を説明した。
2025年 7月1日(火)	上田地域の観光振興等の一つのコンテンツとして、サイクルツーリズムに着眼。入込サイクリストの増加の周辺地域への効果等のヒアリング対応。広域連携を視点にした観光への助言。
9月10日(水)	豊かな暮らしが実現できるまちづくりの手法として、住民参画型運営の「サイクルオアシス」の調査を実施。サイクルオアシス整備、運営の歩みをレクチャーした。
10月3日(金)	サイクリング愛好者の入込客数の増加に大きな影響を及ぼした活動やその変化についてのヒアリング。産官民による協働体制の構築、中でも住民参画型の取り組みについて紹介。
10月27日(月)	自転車旅行者の受入基盤を整えてきた歴史、担い手についてのヒアリング。観光関連事業者に留まらず、住民を含む多様なセクターの連携について紹介。
10月29日(水)	岐阜県山県市議会の視察。サイクルツーリズム推進による地域活性化の情報提供。官民一体で進める受入環境整備と役割分担を共有した。

## ③ 審議会・委員会・意見交換会への参加

しまなみの自転車振興や関係機関との連絡調整等に関する会議等に参加した。

2025年9/1(月)	しまなみ地域サイクリストマナー向上推進協議会/愛媛県東予地方局今治支局総務県民室	しまなみ地域を訪れるサイクリストの交通ルールの順守やマナーアップへの意識向上対策に関して、取組の基本事項を検討する協議会への参加。
2026年1/15(水)	今治市サイクルシティ推進協議会/今治市サイクルシティ推進課	官民一体となって自転車の活用推進に努め、誰もが安全に安心して自転車を利用できる環境を整えるとともに、サイクルツーリズムによる地域活性化を図る取組を検討。

## 13. 会議に関する事項について

### (1) 総会

#### ① 第14回通常総会

日時：2025年4月26日(土)

議題：○2024年度事業報告・収支決算報告の件  
○2025年度事業計画・収支予算の報告の件

### (2) 理事会

第1回 日時：2025年4月26日(土)

議題：○2025年度事業計画・活動予算の件  
○スタッフ給与の件  
○総会に付すべき事項の件

第3回 日時：2025年12月26日(金)

議題：○サイクルシティ推進事業の件  
三輪自転車タクシー運行の件  
外国人向け自転車安全講習の件  
○2025年度事業の進捗確認の件

第2回 日時：2025年6月20日(木)

議題：○宿所の運営の件  
○アルバイト雇用の件  
○2025年度事業の進捗の件

第4回 日時：2026年1月18日(日)

議題：○ガイドマニュアル作成の件  
○WEBサイト等、情報発信強化の件

第5回 日時：2026年3月23日(月)

議題：○2025年度事業の進捗確認の件  
○2026年度事業立案の件  
○2026年度スタッフ体制の件

